



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成
【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

①第3回学校運営協議会の開催について

12月10日（水）に第3回目の学校運営協議会が開催されました。今年も高島小学校、手宮中央小学校、北陵中学校の3校が集まり、「3校合同学校運営協議会」として合同で開催されました。

今年は初めての試みとして、地域防災に関する講話を実施しました。講師に小樽市総務部災害対策室の安藤様をお招きし、防災に関する基礎知識、避難所の運営、災害発生時の対応などについて、ご講演いただきました。講話後には5つのグループに分かれ、「地域の防災について保護者、地域・学校ができること」をテーマに、3校の委員が各グループに分かれて意見交流を行いました。

交流の間では各町会で実施されている防災対策や学校での取組などが共有されました。この議論を通じて、保護者・地域・学校の連携が地域防災において不可欠であり、より一層大切であることが再確認されました。

意見交流の後には小中一貫教育に関する報告や各校のCSの取組について紹介されました。以下に各校のCSの取組を簡単ながらご紹介いたします。

（1）北陵中学校のCSの取組

北陵中学校では、4月と7月に計2回開催されました。特に1学期は、例年実施している全校清掃活動、1年生による潮音頭教室、高島越後盆踊り体験に加え、今年度初めて実施した家庭科による3年生の幼稚園実習など、地域との結びつきを深める様々な取組が紹介されました。また、委員の皆様と通学路の危険箇所について協議したことなども報告されました。

（2）高島小学校のCSの取組

高島小学校では、今年度も多岐にわたる活動が展開されました。具体的には、PTAや地域の方々とのクリーン作戦、保護者の方の指導のもとに行われた運河ロードレースの練習会、高島・祝津の海の幸を活用した和食の授業「知産志食」などが実施されました。さらに、越後踊り保存会の方々の指導による盆踊り体験や保護者・地域の方々と一緒に踊った潮ねりこみなど、地域と連携した様々な取組が紹介されました。

（3）手宮中央小学校のCSの取組

手宮中央小学校では、特色ある教育としてICT活用教育の充実やふるさと教育の充実を推進していることや1学期の教育活動として、交通安全教室、遠足、運動会、旅行的行事、潮ねりこみなどの具体的な取組が紹介されました。さらに、委員の皆様からは、地域への情報発信の在り方や、地域に対する要望なども積極的にアピールしてほしいという意見が出ました。今後は、これらの意見を踏まえ、引き続き地域と連携していく方針などが報告されました。